

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進めると述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあついても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。

都議会議員 (新宿区選出)

おおやま・ともこ



大山とも子

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。

都議会議員 (大田区選出)



藤田りょうこ

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。



都議会議員 (品川区選出)

白石たみお

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。

都議会議員 (目黒区選出)



星見てい子

ほしみ・いこ

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。



都議会議員 (世田谷区選出)

里吉 ゆみ

さとよし・ゆみ

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。

都議会議員 (杉並区選出)



原田あきら

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。



都議会議員 (豊島区選出)

米倉 春奈

よねくわら ちはるな

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。



都議会議員(練馬区選出)

とや・えつこ

とや英津子

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。



都議会議員 (江東区選出)

あぜがみ・みわこ

あぜ上三和子

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。



都議会議員 (板橋区選出)

とくとくとめ道信

とくとくとめ道信

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。

都議会議員 (北区選出)



そね はじめ

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。



都議会議員 (足立区選出)

斉藤 まりこ

あおやま まりこ

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。

都議会議員 (葛飾区選出)

いずみなおみ



和泉なおみ

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。



都議会議員 (江戸川区選出)

河野 ゆりえ

こうの ゆりえ

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。



実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。



都議会議員 (八王子市選出)

清水ひで子

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。



実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。

都議会議員 (北多摩1区選出)



尾崎あや子

おぜきあやこ

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下

水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。

都議会議員 (北多摩4区選出)



原のり子

はらのりこ

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

豊洲市場の「安全宣言」撤回を

共産党都議団が 小池知事に迫る

日本共産党都議団は、8月1日、小池知事に面会した際、知事が前日行った、豊洲市場の「安全宣言」を批判し、撤回を厳しく求めました(上写真)。

170倍のベン

ゼン検出 土壌汚染 解決せず

東京都築地市場の豊洲新市場(東京ガス工場跡地)への移転問題で、小池知事が行った「安全宣言」に対しては、同市場用地の深刻な土壌汚染の除去に失敗したもとの、「食の安全・安心」を投げ捨てる暴挙だとして、専門家、消費者、市場業者らから批判が噴出していきます。

実際、豊洲新市場では7月30日公表の調査結果でも、地下



水から土壌汚染対策後の最高値となる環境基準の170倍のベンゼンが検出されるなど、土壌汚染問題は何ら解決していません。また、市場施設の致命的な欠陥も改善されていません。

共産党都議団は「安全宣言」について「事実の裏付けがない、偽りの宣言だ」と批判。専門家会議が設置要綱で「公開で行う」とされているにもかかわらず、公開の会議を開かなかったことを指摘しました。

小池知事は「いろいろな声に耳を傾けて、都民のための都政を進める」と述べましたが、市場問題には言も触れませんでした。

豊洲移転を見直し

「築地を守る」の築地再整備を 知事公約にそって

「食の安全・安心」は、生鮮食品をあつかう中央卸売市場にとって何をあいても優先すべきもの。食の安全・安心を守る都政へ全力あげます。



都議会議員 (町田市選出)

池川 友一

いけがわ ゆういち

日本共産党

東京民報
ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590
2018年8月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可